

平成29年度軽種馬経営高度化指導研修事業

— 第2回軽種馬生産の担い手を対象とした経営支援に係る研修 —

～馬の評価と簿記の基本～

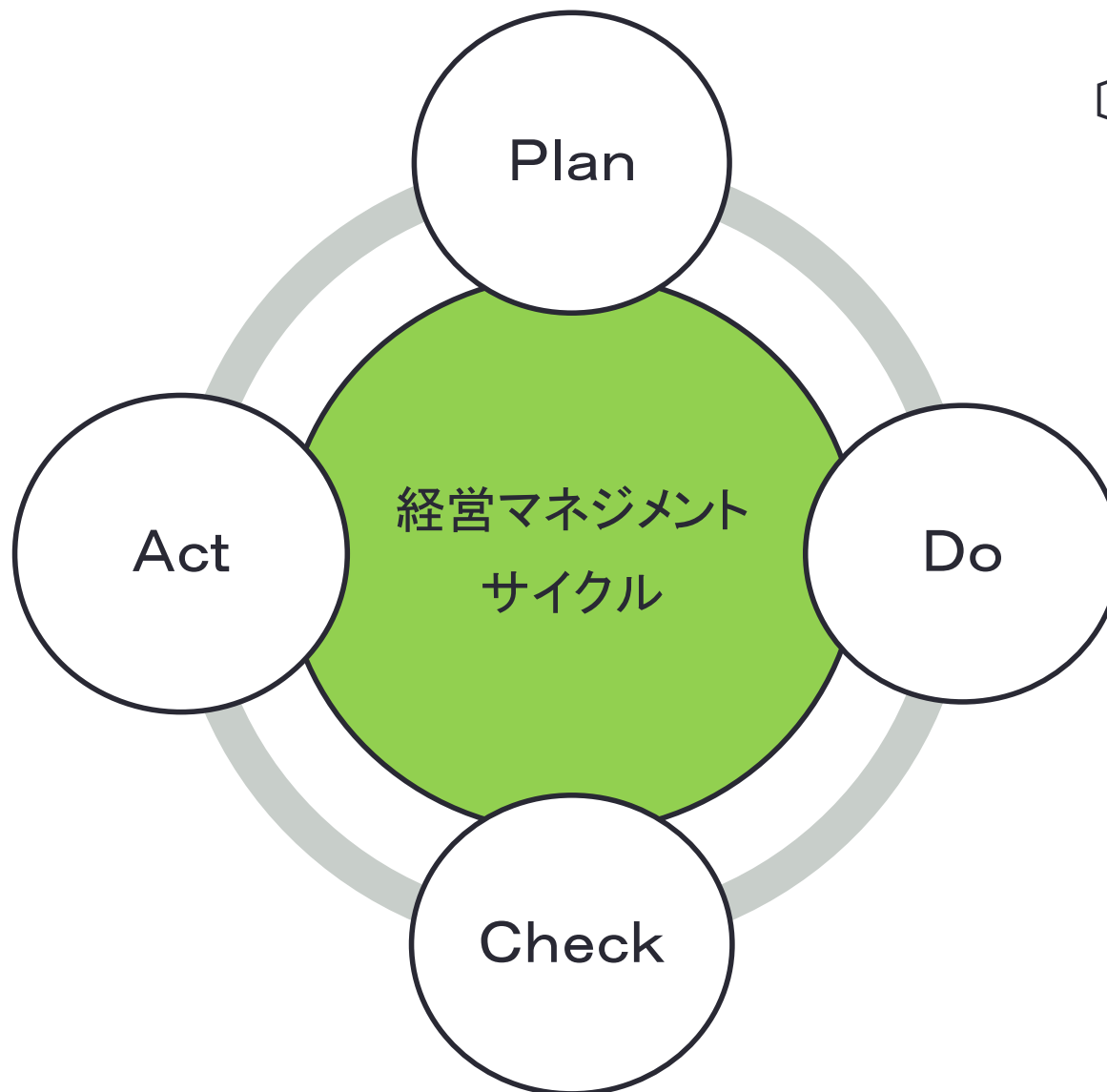
平成29年9月5日(火)

公益社団法人中央畜産会

資金・経営対策部 武田 航

はじめに 経営を考える、とは何か

[教本P12]



3回の研修会で考えていくテーマ

軽種馬経営の経営管理を皆で考えていきましょう

第1回担い手研修会 決算書の見方を考えてみよう

第2回担い手研修会 馬の評価の仕方を考えてみよう
簿記の基本を考えてみよう

今回の
研修テーマ

第3回担い手研修会 経営の評価の仕方を考えてみよう

1 馬の評価の仕方を考えてみよう

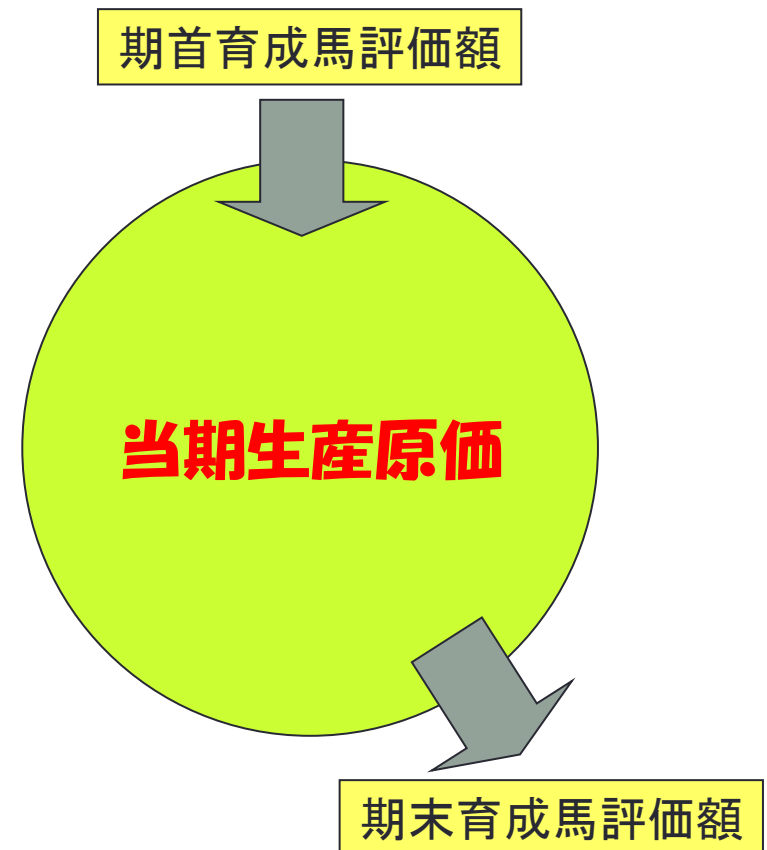
前回(第1回研修会)、こんな話をしました。

当期生産原価(その年に使った分だけ)

+ 期首育成馬評価額

- 期末育成馬評価額

= 売上原価



【育成原価の計算は何故、必要？】

- 軽種馬生産において、軽種馬売上に対応する売上原価を出来るだけ正確に算出する。
- そのためには、決算期末に現存する育成馬の価格を1頭ごと計算して、期末棚卸の価格（期末育成原価）の総額を算出し
- 当期生産費用より控除し売上原価を計算する必要がある。

$$\begin{aligned} & \text{軽種馬売上} - (\text{当期生産費用} + \text{期首育成原価} - \text{期末育成原価}) \\ & = \text{売上総利益} \end{aligned}$$

【育成原価計算の考え方】

期末育成原価(期末棚卸額)

＝胎児の期末育成原価

＋当歳馬の期末育成原価

＋1歳馬の期末育成原価

＋(育成中の軽種馬の)仕入時の期末育成原価

2 簿記の基本を考えてみよう

【簿記・会計の目的と用途】

[教本P8~11]

経営はうまくいってるか？

経営の今後はどうなるの？

投資は可能か？

経営成績は良好ですよ

簿記・会計

現状分析

予 測

投資計画

与 信 力

	目的① 納税対応	目的② 経営管理	目的③ 資金調達
作成理由	義務	経営のための経営管理・分析	経営・出資者のため
必要な諸表	納税申告書	損益計算書 貸借対照表	損益計算書 貸借対照表
できること	課税所得額の確定	単年度利益・資本の確認 負債額の動向確認	与信力の公開 収益性の確認 安定性の確認

【損益計算書、貸借対照表の概略】

損益計算書

Profit and Loss
P/L

借方	貸方
費用	収益
純利益	

貸借対照表

Balance Sheet
B/S

借方	貸方
資産	負債
	資本

借方合計 = 貸方合計
(貸借平均の原則)

費用 + 純利益 = 収益
→ 損益計算書等式

資産 = 他人資本 + 自己資本
→ 貸借対照表等式

資産 - 負債 = 資本
→ 資本等式

【記帳の種類】

〔教本P21〕

単式簿記

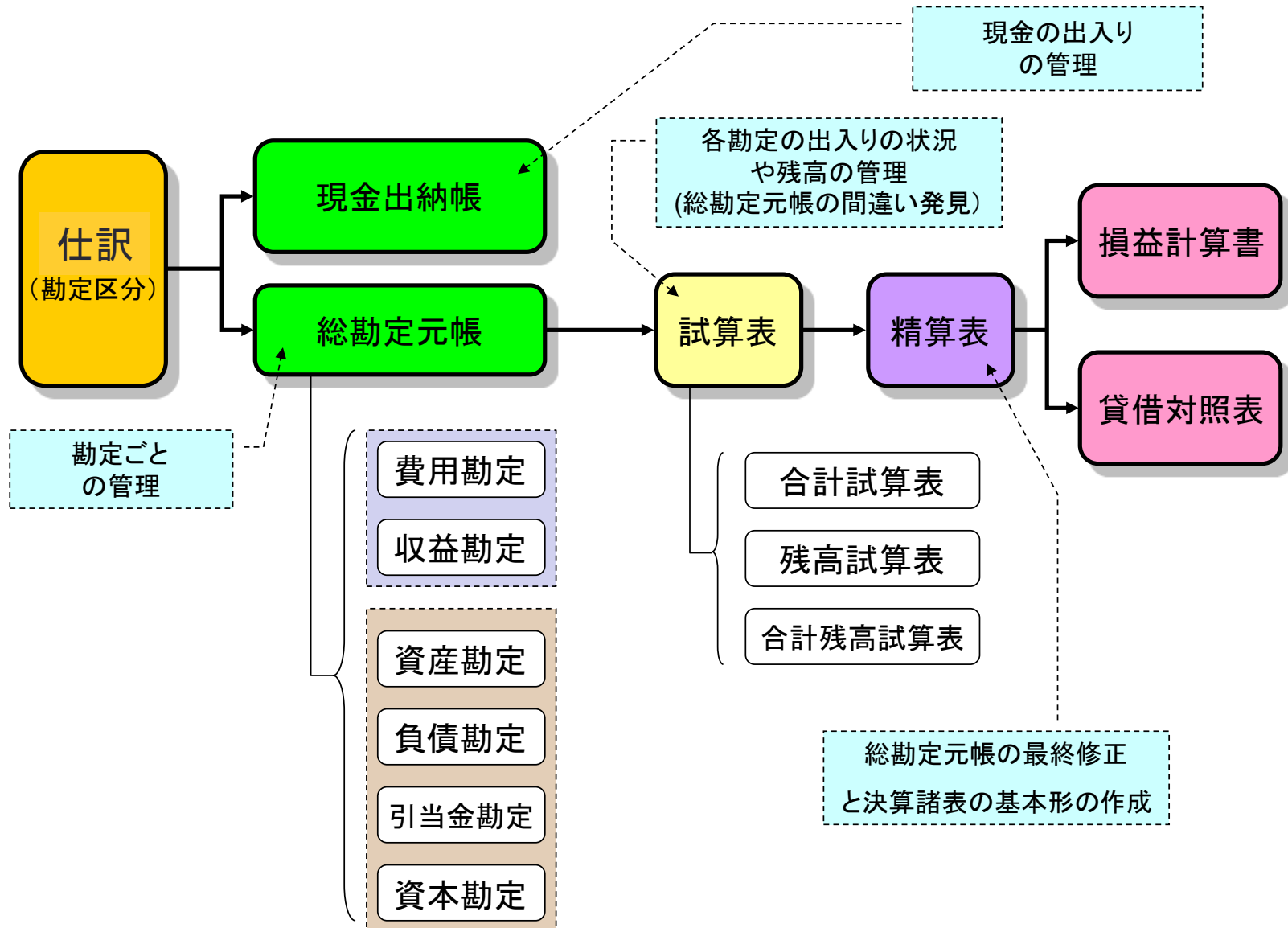
- ① 収入と支出（損益）を中心とした記帳。
- ② 財産（預貯金、固定資産、棚卸し資産、負債等）の増減を完全に記録することができない。
- ③ 損失や利益が発生した原因を明らかにすることができない。
- ④ 簿記上の誤りを検査することができない。

複式簿記

- ① 損益の他に経営の財務についての増減も合わせて記録することができる。
- ② 損益の発生と財産の増減について関連付けて記録することができる。
- ③ 一定の方法（原理）に基づいて記録されるため、誤りを自動的に発見することができる。
- ④ 従って、経営全般を見るための簿記＝複式簿記。

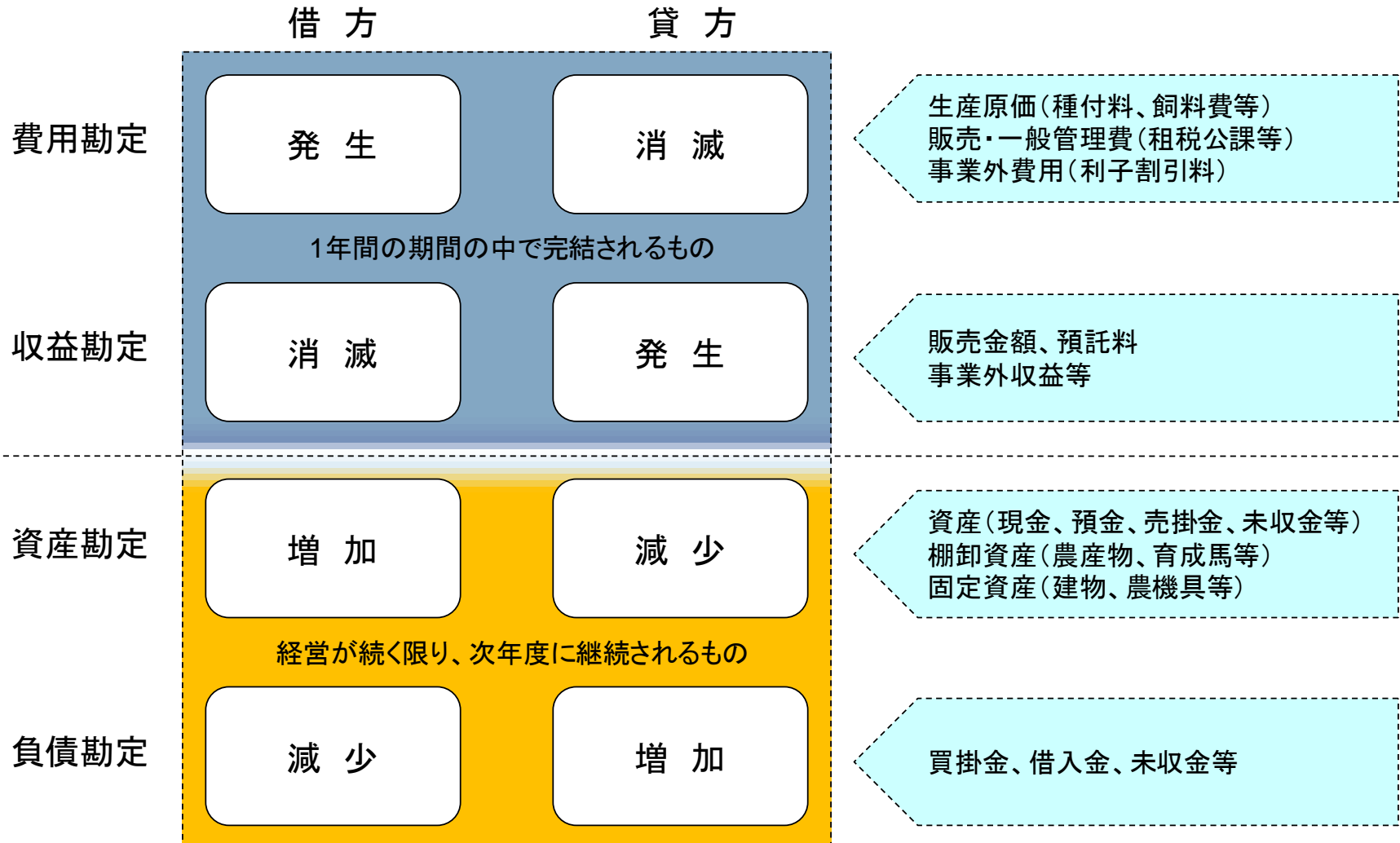
【複式簿記の記帳の流れ】

〔教本P20〕



〔教本P23〕

【日々の取引の仕分け】



(借方・貸方の関係が分からなくなったら)

借方・貸方の関係が分からなくなった場合は、簡単に次のように覚えるとよいです。

自分の経営にとって、

○ 1年間で完結する勘定（費用・収益）は、自分にとってプラスが右側（貸方）に。

○ 次年度以降継続される勘定（資産・負債）は自分にとってプラスが左側（借方）に。

そして、

正確な簿記・記帳

＝経営を評価する情報が手に入る！

その情報を使って、経営を評価してみよう！

その話は、次回、考えてみましょう！